

## 令和5年度 第4回松江市地域公共交通会議 議事録

1 日時 令和6年1月16日(火) 13:30~15:00

2 場所 〒690-8540 島根県松江市末次町86 松江市役所 新庁舎3階第1常任委員会室

3 出席者

(1)委員

井上雅雄会長、山影一茂委員(代理:大谷倫広氏)、秦日出海委員、松本光弘委員、鬼村まり子委員、井上和広委員、佐藤広樹委員、丸山武委員、福田宏二委員、物部淳治委員、多久和宣久委員、樋原哲也委員、石飛秀人委員

(2)事務局

都市整備部 石本次長、交通政策課(山崎課長、長谷川係長、坂本主任、船越主任主事)

4 議 題

報告事項

1. 令和6年度からの松江市コミュニティバスの運行について
2. 松江市コミュニティバスの運賃割引適用について(松江市だんだんパスポートの継続)

協議事項

1. 大野・秋鹿地区でのAIデマンドバスの試験運行について
2. 忌部コミュニティバスの路線・ダイヤの見直しについて
3. 松江市交通局路線バスの路線・ダイヤの見直しについて

5 議事の要旨

報告事項

1. 令和6年度からの松江市コミュニティバスの運行について  
令和6年度からの松江市コミュニティバス各地区の運行事業者や運行形態等について報告を行った。
2. 松江市コミュニティバスの運賃割引適用について(松江市だんだんパスポートの継続)  
東日本大震災の避難者への支援である松江市だんだんパスポートについて、令和6年度も同様の支援を継続することについての報告を行った。

協議事項

1. 大野・秋鹿地区でのAIデマンドバスの試験運行について  
令和6年4月1日より大野・秋鹿地区において試験運行を開始するAIデマンドバスについて、申請手続きに必要な本会議での合意を得た。
2. 忌部コミュニティバスの路線・ダイヤの見直しについて  
令和6年6月1日より路線・ダイヤの見直しを行う忌部コミュニティバスについて、申請手続きに必要な本会議での合意を得た。

3. 松江市交通局路線バスの路線・ダイヤの見直しについて

令和6年4月1日より路線・ダイヤの見直しを行う松江市交通局路線バスの運行について、申請手続きに必要な本会議での合意を得た。

6 会議経過 別紙のとおり

7 所管課等

松江市都市整備部交通政策課（0852-55-5661）

(別紙)会議経過

## 1. 開会

### 事務局：石本次長

「松江市地域公共交通会議設置要綱」第4条2項の規定により、井上雅雄会長が議長を務めることを説明。

### 井上雅雄会長

松江市地域公共交通会議設置要綱第4条第6項の規定に基づき、本会議の提出案件は公開で行うことで全委員から異議が無いことを確認。

## 2. 議事について

### 事務局：長谷川係長

報告事項1「令和6年度からの松江市コミュニティバスの運行について」及び報告事項2「松江市コミュニティバスの運賃割引適用について（松江市だんだんパスポートの継続）について」について説明。

### 井上雅雄会長

質問・意見がないことを確認し、協議事項へ進行。

### 事務局：長谷川係長

協議事項1「大野・秋鹿地区でのAIデマンドバスの試験運行について」について説明。

### 丸山委員

大野・秋鹿地区での試験運行は令和7年3月31日までとなっているが、試験運行終了後の交通手段はどうなるのか。説明を聞く限りでは、AIデマンドバスの運行が継続するように受け取れる。

### 事務局：長谷川係長

AIデマンドバスの運行結果を分析し、令和7年度以降の運行について判断する。

### 丸山委員

試験結果により、AIデマンドバスの継続だけでなく、他の手段も検討するということが理解した。本年については、交通を取り巻く環境が大きく変わる年であり、従来の考え方や進め方のままでは問題が生じるのではと危惧し、市の考え方を改めて伺った。

また、AIシステムの導入にあたり、運行事業者にはシステムの導入や運用をしていくスキルが備わっているのか。

### 事務局：長谷川係長

松江市がシステム事業者に委託し開発したAI配車システムを運行事業者に提供する。電話・アプリから予約が可能で、予約内容が車両に備え付けたタブレット端末に送信されるため、運転手はシステムの指示に従い運行する。八束ではスムーズに運行をしており、大野・秋鹿でも同様のシステムを用いるため問題はないと捉えている。

## 多久和委員

試験運行とはいえ、1年間の実績で継続の判断をされると住民は困る。単純な乗客数だけでなく、利用が伸びないのであれば、どこに原因があるのかしっかりと分析をしてほしい。中山間地域での取り組みであるため、他の地区からの関心が高く、地元としても利用促進に努めていくつもりだ。結果が思わしくないので、元のコミュニティバスに戻すというのは辞めていただきたい。

## 樋原委員

大野・秋鹿地区は非常に高齢化率が高く、独居の方も多いため、AI デマンドバスに期待する部分は大きい。運行が継続していけるよう、地元としても十分な利用促進を図っていく意向であるため、今後ともご支援をお願いしたい。

## 事務局：長谷川係長

利用者数だけでなく総合的に判断していく。利用促進に向けた取り組みは、引き続き地元と一緒にやって行っていきたい。

## 井上雅雄会長

その他の質問・意見がないことを確認し、協議事項1について合意を得た。

## 事務局：長谷川係長

協議事項2 「忌部コミュニティバスの路線・ダイヤの見直しについて」について説明。

## 井上雅雄会長

質問・意見がないことを確認し、協議事項2について合意を得た。

## 松江市交通局：安部主任

協議事項3 「松江市交通局路線バスの路線・ダイヤの見直しについて」について説明。

## 鬼村委員

質疑ではないが、人員不足や2024年問題について、国の視点から意見を述べさせてほしい。

人員不足は深刻な課題であり、国においては令和4年度の補正予算から人材確保やICカード導入のための予算措置を行っており、今後も必要な予算の措置が行われるものと想定される。

しかし、国が予算を確保したところで、乗客が増え収益が上がらなければ、人員確保や路線の維持に繋がらない。今回、松江市交通局が相当な労力を費やし路線・ダイヤの見直しを行っているため、様々な方法で周知やPRを行い、利用者の増加に繋げてほしい。

また、大規模災害などの有事の際に、住民の避難等で輸送が必要になれば、貸切、乗合、タクシーなどの事業形態に関わらず、交通事業者にはその役目を担って頂くものとなっている。地域に交通事業者が存在することがどれだけ重要か認識頂き、交通事業を守っていけるよう協力してほしい。

## 佐藤委員

減便等によりご不便をかける部分はあるが、路線バスは大変重要な役割を担っていることを改めて認識し、日々の安全運行に努めたい。

## 丸山委員

平日では70便、土日では26便が減便となるが、人員不足の解消にどの程度の効果があるのか。また、この会議に馴染まないことは承知しているが、意見を述べさせてほしい。

現在松江市では地域公共交通利用促進市民会議において地域公共交通計画の策定に向け取り組んでおり、公共交通の在り方について検討している。人員不足解消のため、路線の縮小・ダイヤ改正により対応しているが、このような状況が劇的に改善されることは考えられない。現在、運転手の時間外労働の上限は960時間であるが、厚労省の意向として、一般的な上限である720時間に合わせていくことが予想される。これまで通りの議論や考え方では、公共交通が持続可能なものになっていかない。松江市は根本的な考え方を見直すよう働きかけて頂かないと、ますます利用者に不便を強いることになる。

限られた資源を有効に活用していく意味でも、各々の事業者がそれぞれの路線・ダイヤを見直すのではなく、一つの大きな松江市として捉え、交通の再編を考えていけば、新たなニーズを取り込むことや、路線の新設も行える可能性がある。利用者の利便性を踏まえると、100%の人に満足いただくことは難しいかもしれないが、今まで通りのやり方や考え方では通用しないということを改めてご認識頂きたい。

2024年問題というが、人員不足は10年近く前から問題となっており、今に始まった話ではない。コロナ禍において対応が難しかったことを考慮しても、対応が後手に回っている。今後、法規制が更に厳しくなることが予想されるので、皆様にも今一度ご認識頂きたく発言をした。

#### **松江市交通局：安部主任**

回答の前に交通局の現状について少し触れたい。

交通局では、毎日5名程度、多ければ10名近くの休暇中の乗務員に乗車してもらい、何とか日々の運行を行っている。乗務員のシフトを組む者も、次の日の運行について夜遅くまで頭を悩ませている。コロナやインフルエンザで休みが出れば、事務所の中で大型免許を保持している者が代わりに運行をするのが日常となっている。

今回の減便により、目標として7名から最大10名の人員が浮けば、休暇中の乗務員に勤務してもらうことがなくなると想定し、見直しを行ったところである。また、2～3台の車両が不要となれば、その分の固定費が抑えられるため、経費節減の効果も見据えている。

#### **井上雅雄会長**

その他の質問・意見がないことを確認し、協議事項3について合意を得た。

### **3. 議案に関わらない質問や意見について**

#### **井上和広委員**

令和6年4月から、一畑バスも乗客の利便性を高めるためダイヤ改正を予定している。

令和4年10月に、松江駅発でしんじ湖温泉駅を経由し、高専方面に運行する便を設定した。朝2便運行をしているが、しんじ湖温泉駅を経由することにより相当な遅れが生じており、学校の始業時間である8時40分に間に合わないことが多々ある。

そのため、県民会館を経由せず、京橋の方からしんじ湖温泉駅に向かうように見直しを行う。県民会館からの乗客については、同時間帯に恵曇線が運行しており、5～10分間隔で運行しているため、影響がないものと認識している。

また、運転手の拘束時間を短縮し、処遇を改善するため、恵曇線、八雲線、マリン線、御津線、万原線について、夕方から夜の便にかけて10～20分程度繰り上げを計画している。こちらも令和6

年4月からを予定している。

**松本委員**

デマンドバスについて八束、大野・秋鹿以外の地区でも構想があるのか。

**井上雅雄会長**

時期などは未定であるが他の地区からも強い要望を頂いている。

**松本委員**

大変よい取り組みだと思う。日本全国に、松江市ではこのような取り組みをしていると、明るいニュースを届けてほしい。

**4. 閉会**

**事務局：石本次長**

以上をもって、令和5年度第3回松江市地域公共交通会議を閉会。